

兼 東栄町役場
 編 人 兼
 行 者



豊橋市東八町
 印刷所 水鳥印刷所

川岸に残る暑さや彼岸まで

第 6 1 号

10月1日

たすけあう

心あらわす赤い羽根

みんなで築く明るい社会

共同募金運動開始

農業欄

東栄普及所

現行栽培のもの、更新を予定するもの。

山路早生 若葉×藤銀

若葉四号

若四さかへ

千代米

若葉

秋晴

鈴原もち

一、茶

(1)園茶の元肥施用及び敷草

おそくとも九月中には、畦間を

七〜八寸くらい耕起して次に示

す元肥を施して、敷草を行ない

ましょう。

施肥基準 一〇アルル当たり

第一例、三年生を標準として、

硫安 一、八八〇g

種粕 一四、〇〇〇g

過石 一、五四〇g

塩加 一、二〇〇g

一〜二年生五割減、四年生三割

五年生五割、六年生七割、七年

生九割増とする。

種粕を鶏糞で施用の場合は倍与

とする。

第二例、七年生標準として

鶏糞 二四〇g

硫加隣安三号 四〇g

六年生八〇g、五年生七〇g、

四年生八〇g、三年生四〇g、

一〜二年生二〇g

刈込後摘採面が、不揃となって来ておるから、九月下旬から十月上旬にかけて、軽い整枝を行ない、袋付きの鉄で摘採の出来るようにしておきましょう。

(3)病害虫の防除

シラホシ・モチ・アカハガレ・

タンソ病などが発病してくるから、四号四式ボルドー液を九月

中に最低一回は散布したい。

なお八月に発生の害虫が残存して

おいたら、有機燐剤、または

ダリス・除虫菊・リンデン剤で

防除をする。

三、こんにやく芋

(1)こんにやく芋の増殖

基盤の少ないこの地帯において

は反収益の多い、こんにやくや

煙草・そ菜も取れて経営の改善

をすることが緊急な要素である

こんにやくの増殖については、

種芋が重要であるから、今のうち

に、健全無病な圃場を見て買

入れられるように準備がお願い

したい。本年からは電熱貯蔵が

奨励され、労力が省力され、し

かも貯蔵が安定するようになり

ましたので、一層の増殖を計

画されたい。

(2)病害虫防除

葉枯病や腐敗病が次第に多くな

って来たので、最後まで薬剤防

除を十分にして芋の肥大を図ら

れたい。

四、果樹 梅 栗

(1)苗木の準備

近く農協から苗木の取まとめが

出ると思いますが、次に示す、

品種を奨励して行きたいと思

ますので、特性や混植を十分に

考えて注文願いたい。

梅の品種は下表のようである。

表葉は稍病気に浸され易い点で

市場価値に乏しい。

栗については、胴枯病や木クイ

虫の被害で問題があって、山栗

の高接や実生育成による高接が

要望されておりますが、現在有

望として奨励されるものは次の

品種である。

早生 八月下旬

森早生 千代田早生

中庄 九月上旬

円 沢 伊 吹

晩生 九月中下旬

筑 波 有 摩

「生活」

(家族の話し合い)

収穫の秋が訪れて来ました。機械化、近代化の駆足と共にこの頃の農業は昔に比べて大変に省力ができるようになりましたが、経済の高度成長政策のもと、農家の多くが兼業となって行きそのしわよせは主婦農業という名前を生みました。主婦は本来の家事労働に加えて農業の主体として働かざるをえなくなりました。

▲どこがちがって来たでしょう「農婦症」などという病気が今迄きいたこともなかったのにこの頃ではこの言葉があちこちに大きくクローズアップされマスコミにのって私共の目にもつるようになりました。消費は主権「消費は主権」とか消費は美德とかいう言葉がささやかれ何となく買わないと悪いようなムードが私達を誘惑し以前

品 種	品 種				果大	果形	熟期	収量	樹勢	備 考
	花小	花大	花色	萼色						
甲州最	小	単	白	淡紅	小	宝珠	6上	多	強	料理用
白加	小	〃	〃	〃	中	球状	6中	〃	〃	花粉少
長東	〃	〃	淡紅	〃	大	円	6中	〃	〃	黒星病、易く
青軸	〃	〃	白	淡緑	中	大	6中	〃	〃	浸花少

注 1. 自花授精が低いから2割位、異品種を混植する。

よりお金がどんと入るようになり
ました。

食料品も便利なものがそこら
一杯あります。さつとすれば忽
ちたべられるインスタント食品が
どうしても多く利用されるよう
になりました。

押入れの中にも流行おくれのも
の少しつくろえばよいものが大
分しまわれないでしょうか。

これは農村ばかりでなく都会地
でも共稼の増加と共に団地の鍵っ
子どう問題となって表われまし
たが農村でも多忙のために放置さ
れてくる子供があつちこちに多
くなってきたように思います。

▲どうしたらよいでしょう
蒸暑かった夜もいつしか灯が恋
しいこの頃家中で食後にでもいろ
いろ話し合ひはどうでしょう。

たとえ僅かの時間でもごんなこ
とでもそれが子供の一日のできご
とをきくだけでもよいのです。
それと少しづつ形をかえて家族
会議のようにしたらごんなによい
かと思ひます。

・多忙な主婦の為に仕事の割り
ふりもしましょう

1、お父さん、両戸をあける

2、お風呂は兄さん

3、妹庭はきとおふとんたたみと
いうように

お母さんほどんなにうれしくゆ

つくり休め休まります

お母さんの日に花をつけて皆で
祝つてくれることにもまして本当
にうれしく思うことでしょう

・買ひものなどは皆で相談しまし
よう

何でもまず節約ということは昔
のようにいわれていませぬが、
ちりした建築はしっかりした土台
の上に立ってこそ風にも耐えるよ
うに私共のくらしも備があつてこ
そ日々が平穏にくらすことができ
ます。

主婦の家庭管理の腕をここに大
いにふるって頂きましょう。

儲けること。ためることは大事
ですがもっと大切なのはそうして
できたお金を上手に使うこと、上
手な買ひものの仕方ではないでし
ょうか、一年の汗の結晶のみのも
を今迎えてこれを今年はもっと上
手により有効に計画的に使いたい
ものです

・農家でありながら年中家で振
るだけの野菜のない家が非常にあ
ります、作付を上手に考えて即席
食品にたとえ一品でも主婦の心の
こもつたものをそえて食膳に出す
ように心がけたいと思ひます。
この頃年間の野菜のとり方の少
いのが目立つようです

健康は太陽と同じで普段は気が
つきませんがどんなに大切が必要

なものは病気になるたときしみ
じみと思われれるものです

ほのほのと温い家庭のふんいき
それは我家ならでは味えませぬ

お父さんは仕事をすますとすべ
いそぐのは我家であり、子供もど
んなに家中そろつたまごいを幼心
に楽しいものと焼きつけることで
しょう

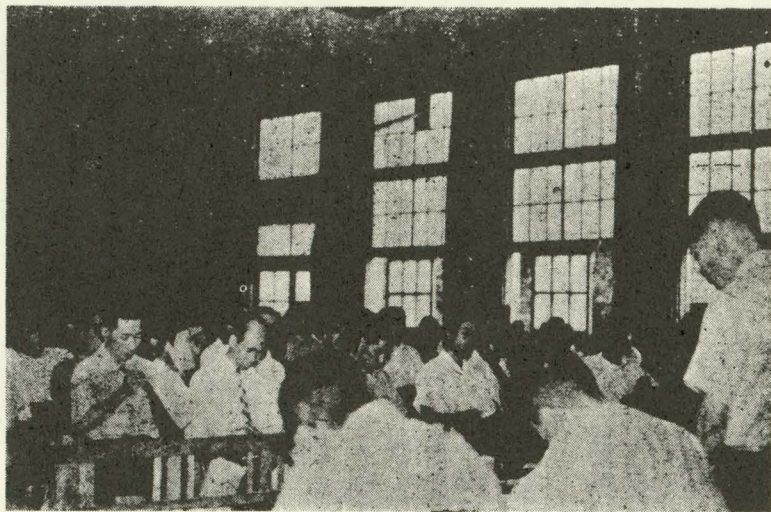
出稼ぎで帰らなくなった父、農婦

御苦労様です

組長さん！

症、とこの頃の農家は本当に大き
な問題が多くあります

みりの秋
こんどはわが家のこれからのこ
と、子供の将来のこと、自分たち
が年とつたら、来年は何を作らう
か、など、豊作にめぐまれた秋の夜
を家中で語り考え、明日は来年中
そはもっとよい日々であるように
くらしの設計もしてみましよう。



9月13日の組長会 —東栄中学—

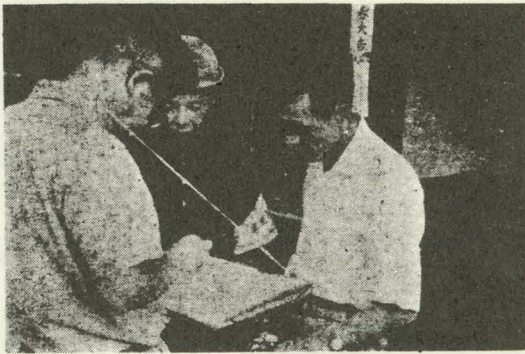
—昭和三十九年九月
十五日現在で—

選挙資格者と住民 登録の一斉調査

昭和三十九年九月十五日現在で
右の調査を行います。

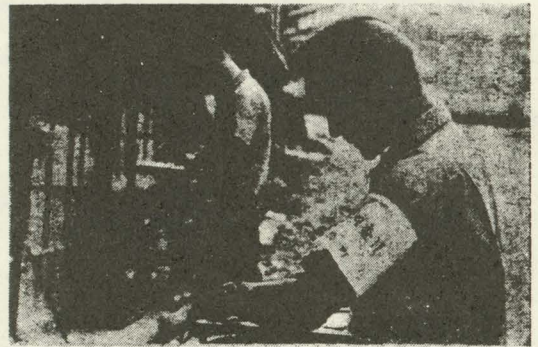
一、選挙人名簿は毎年九月十五日
現在で調製します。昨年あつたか
らといって申告しないと登録され
ません、名簿に載る人は本年十二
月二十日満二十才以上に達するも
の(昭和十九年十二月二十一日以
前出生)で東栄町に来てから九月
十五日以前より東栄町に住んで居
る)であります。

二、住民登録については住民登録
法に基づき町民の住所についてのそ
の居住の実態を把握し住民票を実
態に即して整備し各種行政の基礎
資料として有効に之を利用する様
実施するものであります。が選挙入
名簿とは趣を異にし住所要件も年
令要件もなくと角九月十五日現在
在東栄町に住んである者全員を調
査するものですから一人ももれな
く申告して下さい。現在住民登録は
東栄町にあつても他町村に住所を
変更した者は記入の要はありませ
ん但し入院患者は記入して下さい
又これと反対に他町村に登録はあ
つても現在東栄町に住んで居られ
る方(即ち未届者)は記入して下
さい以上の様にお間違ひなく必ず
記入申告をお願いいたします。



家屋調査はじまる

—三班で御殿・本郷・三輪から—



家屋の調査がはじまりました。調査員は三班にわかれそれぞれ次のような地区を担当します。

- 第一班 御殿、振草
 - 第二班 本郷、下川
 - 第三班 三輪、園
- 調査は八月十五日それぞれ御殿(月)本郷(東方場)三輪(上奈根)からはじまりました。みなさんのお宅にお伺いがいる時は事前(二、三日前)に回覧にてお知らせいたしますので、ごなたか在宅して協力をお願いします。



八月の行事

- 三日 茶業振興指導会、県係官 農地現況調査、県係官
- 四日 評価事務研修、田原町(八日まで)
- 五日 社会福祉事務調査、県係官 職業相談、役場
- 六日 乳幼児検診、下川小学校
- 七日 豊橋健民青少年団結成十周年記念式参列、粟代こども会
- 八日 農林団体指導者会 振草中学校給食室委員会及び入札実施
- 十日 農業委員会及農業団体長研修会、氏原光治先生来庁 保育園事務調査、県係官
- 十一日 乳幼児検診、中央小学校 東栄町開発促進協議会
- 十二日 へき地教育研修会、足込小学校 若合肥育牛飼育調査、県係官
- 十三日 小林児童館起工式、現地 職業相談
- 十四日 乳幼児検診、足込小学校
- 十五日 町民野球大会
- 十六日 町民税、木材引取税令書 発行
- 十七日 東栄町開発促進協議会 和牛、酪農共進会打合せ、農協事務所
- 十八日 県土木建築常任委員来町 精神衛生相談開設、保健所
- 十九日 米穀販売業務調査、役場 田原町評価審査委員来町
- 二十日 振草地区町政懇談会、振草支所



- 二十一日 保育園基準調査、本郷 保育園 郡小中学校健康優良児童審査会 婦人会支部長会、役場
- 二十二日 未亡人役員会、役場
- 二十四日 東蘭目及河内転用農地 調査
- 二十五日 NHKテレビ下粟代現地産業状況撮影
- 二十六日 茶樹栽培パイロット事業打合せ、県係官来町
- 二十七日 下粟代花祭練習風景NHK撮影
- 二十八日 職業相談、役場 林間学校閉校式
- 二十九日 保育園基準検査
- 三十日 町青年団研修会
- 三十一日 町村対抗郡民野球大会出場、設楽町 東栄病院、御殿診療所 監査、県係官 町税収納日

訂正

先月号町報四ページ納税報償金の記事、園地区町税の部に高遠組が脱落しておりました。お詫びとともに訂正いたします。